

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公開番号】特開 2001-166458 (P2001-166458A)

【公開日】平成 13 年 6 月 22 日 (2001.6.22)

【出願番号】特願 平 11-348470

【国際特許分類】

**G 0 3 F 7/00 (2006.01)**

**G 0 3 F 7/004 (2006.01)**

**G 0 3 F 7/34 (2006.01)**

【F I】

G 0 3 F 7/00 5 0 2

G 0 3 F 7/004 5 1 2

G 0 3 F 7/34

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 8 日 (2006.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ( i ) 紫外光が透過可能な透明フィルムの片面にインク受像層が設けられており、シワのない状態に張り渡され、そして一定方向に移動可能なキャリアフィルムの上に、予め用意された画像記録信号に基づき、インクジェットノズルから紫外光を遮蔽するインクを吹き付け乾燥させて紫外光を選択的に透過させる画像を形成した後に、そのキャリアフィルムを移動させながら移動距離を計測しつつ、当該キャリアフィルムのインク画像領域上に感光性樹脂液を塗布する工程、( i i ) 次いで該感光性樹脂液上に感光性樹脂との接着層を有する紫外光が透過可能なベースフィルムを積層しつつ、当該感光性樹脂液層の厚みを一定に制御してキャリアフィルムと共に移動せしめた後に、露光ゾーンでキャリアフィルム上の感光性樹脂液を上方よりバック露光、下方よりレリーフ露光の紫外光照射をして光硬化させる工程、( i i i ) 続いて該ベースフィルムと一体になった感光性樹脂をキャリアフィルムより剥離し、ベースフィルム付き感光性樹脂の未硬化樹脂を除去回収しながら洗浄ゾーンに送り込んで、硬化感光性樹脂に残存している未硬化樹脂を洗浄液で溶出させる工程を含むことを特徴とする液状感光性樹脂凸版の製造方法。

【請求項 2】 ( a ) ロール巻き原反のキャリアフィルムを収納して供給する機構と、( b ) キャリアフィルムを一定方向に移動させながらロール状に巻き取る機構と、( c ) キャリアフィルムが水平状態を維持する区間に開閉可能な復対のピンチロールを備え、( d ) キャリアフィルムの移動距離を計測する手段と、( e ) 画像記録信号を受信、記憶しインク吐出電子制御信号へと変換する手段とキャリアフィルム所定領域上にインクを吹き付ける手段を備えたインクジェット描画装置と、( f ) キャリアフィルム上へ感光性樹脂液を一定厚みに塗布する手段を備えた感光性樹脂液供給機構と、( g ) ロール巻き原反のベースフィルムを収納して所定長さに断裁して供給する機構と、( h ) キャリアフィルムに塗布された感光性樹脂液上にベースフィルムを積層する機構と、キャリアフィルムの上下に 1 対のガラスが配置された露光ゾーンでは、( i ) スライド手段を備えた架台で保持された下ガラス上にはキャリアフィルムとネガフィルムとを独立して吸着固定する真空吸引手段と剥離させる圧気導入手段を備え、( j ) 下ガラス上を移動する手段を備えた密着ロールと、( k ) 下ガラスの下方空間には紫外光照射器と露光量を制御する手段を備え

たレリーフ露光機構と、( 1 ) 昇降手段を備えた架台で保持された上ガラス下面にはベースフィルムとバックスクリーンフィルムとを独立して吸着固定する真空吸引手段と剥離させる圧気導入手段を備え、( m ) 上ガラスの上方空間には紫外光照射器と露光量を制御する手段を備えたバック露光機構と、( n ) 一体となったベースフィルム付き感光性樹脂をキャリアフィルムから剥離する機構と、( o ) ベースフィルム付き感光性樹脂を搬送しながら未硬化樹脂を除去回収する機構と、( p ) ベースフィルム付き感光性樹脂の搬送手段を備えた洗浄装置から構成されること特徴とする液状感光性樹脂凸版の製造装置。

【請求項 3】 請求項 2 記載の( e ) 画像記録信号を受信、記憶しインク吐出電子制御信号へと変換する手段とキャリアフィルム所定領域上にインクを吹き付ける手段を備えたインクジェット描画装置において、描画ヘッドは複数のインクジェットノズルを保持してキャリアフィルムを横断する手段を備え、同時に複数ラインをインクで描画できることを特徴とする液状感光性樹脂凸版の製造装置。

【請求項 4】 請求項 3 記載のインクジェット描画装置において、描画ヘッドの横断する方向と直交する方向へも独立して移動する手段を備え、キャリアフィルムを水平に支持する定盤上にはキャリアフィルムを吸着固定する真空吸引手段と剥離させる圧気導入手段を備え、定盤上を移動する手段を備えた密着ロールから構成されていることを特徴とする液状感光性樹脂凸版の製造装置。

【請求項 5】 請求項 3 記載のインクジェット描画装置において、キャリアフィルムを複数ラインの画像幅分の距離だけ一定方向に移動させる手段を備えていることを特徴とする液状感光性樹脂凸版の製造装置。